

会議の概要(議事録)

会議の名称	(番号) 3-08	平成28年度第1回すみだ環境共創区民会議		
開催日時	平成28年4月21日(木) 18時30分から20時20分まで			
開催場所	墨田区役所3階 31会議室			
出席者数	【委員15人】 阿久沢委員 宇田川委員 笠貫委員 小木曾委員 佐野委員 島崎委員 清水委員 寺島委員 永岡委員 野島委員 森下委員 柳委員 横井委員 吉田委員 渡辺委員 【事務局4人】環境保全課長、環境管理担当主査及び職員2名			
会議の公開 (傍聴)	公開(傍聴できる)	傍聴者数	0名	
議題	1 すみだの環境共創プランについて 2 すみだ環境共創区民会議 平成27年度年間計画について 3 環境フェアへの参加について 4 その他			
配付資料	第二次すみだ環境の共創プラン 第二次すみだ環境の共創プラン概要版 平成28年度すみだ環境共創区民会議年間計画			
会議概要	1. 環境保全課長あいさつ 課長から、開会のあいさつ及び平成28年度組織改正に伴う環境担当の所属部変更について説明があった。 2. 新委員紹介 事務局から新しく委員に就任された寺島委員の紹介をし、本人から挨拶があった。 3. 平成28年度環境保全課の啓発事業について 前回の会議で委員から質問があった、環境ふれあい館の閉館に伴う平成28年度の環境保全課の環境啓発事業の予定について環境保全課職員から説明をおこなった。 4. 平成28年度年間計画について 年間計画の共有と直近の活動計画、環境フェアへの参加について確認した。 5. 意見交換等における主な意見(:委員発言 :事務局発言) 平成28年度環境保全課の啓発事業について 初めに、事務局職員から資料を基に、平成28年度の環境啓発事業の予定を説明した。			

まず環境保全課にとって、環境ふれあい館は何であると考えているのかを教えてください。また、区民会議ではここ数年、区民にいかに関環境問題を知ってもらうか、実践してもらうかを環境フェアとすみだまつりを通じて発信しているが、今後、環境啓発事業に対して、区民会議はどのように協力することができるかと考えているかを教えてください。

環境ふれあい館の機能としては、お手元の資料にある3つの機能（環境教育・環境学習実践事業、環境意識向上事業、活動支援）であったと考えている、今後は、啓発事業については区内各地でやることになると思う。また活動の支援という意味ではどこか「場所」が必要であると思うので、皆さんが集まり、連携できる場は確保したいと思う。そして皆さんの活動成果は、環境フェアなどの場で披露してもらいたいと思う。環境施設がなくなることは痛手だが、区民会議の委員の皆様には環境フェア、すみだまつり等を通じて啓発の協力をしていただいております、今後も区民会議の力を借りながらマンパワーを生かして事業展開をしていきたい。

今まで環境ふれあい館の事業は雨水市民の会に委託していたが、今度は区の自主事業になるということか。

一部は様々な環境団体に委託する必要があるが、環境保全課で従来やっていた事業については拡充して実施する予定である。

一部委託というのは、区内の環境団体なのか、区外の団体も含めるのか。

契約については区内優先ということなのでそのように考えていくが、経費の問題や、その団体がやっている事業のレベルの問題もある。同じレベルや同じ経費で複数団体いれば区内団体をお願いすることになる。

区内の団体が集まって連携できる場が整備されないことには、いつまで経っても区内の団体のレベルが上がらないのではないかと。環境保全課には区内の団体を育てながら一緒に事業を創り上げるような活動をしていただきたい。

活動を活発にする場は私たちが作らないといけないと思う。啓発事業の委託だけが環境保全課の仕事ではなく、区が関わりながら区内団体を育成することも行政の役割の一つであると思う。

活動支援については、支援する対象をどこまでになるのか。個人で何か活動を実施している団体は外れてしまうのか。また、これから新規で環境事業を始めたいという活動の支援はどうするのか。

今までは環境ふれあい館で活動登録していた団体を支援してきた。今後については一つルールを作らないといけないが、例えば環境フェアに参加していただけるかどうかというのも一つの基準になると思う。

そうすると、今まで区が関わってきた団体ばかりの支援になってしまうが、それ以外に、これから新たに環境活動を始めたいという人達も支

援したほうが良いのではないかと。区が支援していない団体でも、能力があっても埋もれてしまっている団体、どこかで自分たちの活動の発表の場が欲しいという環境団体もいると思う。また、我々も区内にどのような環境活動団体があるのか情報が欲しいので、そういった新規の環境団体が参加できるような場も作ってあげた方がよい。

今の話は、環境ふれあい館があった当時から問題になっていたと思う。ただ、今、何が有効な手段かと聞かれると困る部分がある。

ただ集まるだけなら会議室でもいいが、団体と団体が繋がるような、どこかそのような拠点をすることはできないのか。

拠点というと、どこか箱モノをという考えでいたが、荒川や万華池といった、実際の活動の場を拠点として考えないといけない段階に来ている。新しい仲間を増やしていくということは重要なことであると認識している。

新規で参入することは大変ハードルが高いことなので、何とか区のほうで支援をしてあげてほしい。

第二次すみだ環境の共創プランについて

初めに、事務局からプランの概要版を使ってプランの内容について説明をおこなった

私の誤解であれば申し訳ないが、4 - 3の「景観に配慮したまちをつくる」というところで、他の委員がこれからの墨田には観光が欠かせないという発言をされたかと思うが、完成したプランには全然反映されていないのではないかと。

どのような発言を当時したか正確に記憶していないが、私の基本的な考え方は、スカイツリーは環境にやさしいすみだの観光拠点であるというものである。新しいプランの重点プロジェクトについてはスカイツリーの問題、国技館周辺の環境整備や東京オリンピックにも触れられているので、問題はないと思っている。

それであれば問題ないが、今回決まったプランは前回示されて意見した案と一言一句変わっておらず、我々の意見が反映されていないのでは何のために時間を取ったのか意味が分からないと感じたので、今回発言させていただいた。

プランは三位一体で進めていかなければならないものである。今後も必要なものは意見を集約して、この場で区側に提言をしていきたいと考えているのでご協力いただきたい。

平成28年度年間計画について

前の区民会議のメンバー水と緑とごみの問題を取り上げたが、今年は荒川という場でこれら3つの問題について考えることを3月の会議で決定した。環境フェアとすみだまつりに向けては、今までの反省点を生かし、荒川の水、緑、ごみの問題を発信したいと考えている。

さしあたっては、一度時間と場所を調整して、自転車でも乗りながら荒川をみんなで見に行きたいと考えている。

船から見るという手もある。船は国土交通省が持っており、治水事務所が持っているので、申し込みをすれば乗ることができる。ただ、四ツ木橋の辺りは現在工事中の箇所があり、葦の生育状況等なら見ることができるが、川岸のごみや生物を見るには向かないかもしれない。

現地を見に行くことは結構だが、荒川という広いテーマの中で、どういう目的を持って現地調査をするのか考えないといけない。初めは国の方でも区の方でもいいが、荒川について講義してもらい、荒川はどのような川なのか、どのような問題を持っているのかなど、全体を勉強して把握した方が良くはないか。

環境フェアに向けては、荒川の現状を知ってもらうという意味で、写真展示を行うという案も打ち合わせの中で出た。荒川のきれいな部分もそうでない部分も写真で展示をして、区民に荒川の現状を知ってもらうということも良いのではないか。

普通は現地調査の前に、どこで何を調査するのか決めなければいけない。阿久沢委員が言うように、まずは勉強が先ではないか。船で行っても観光気分で終わってしまうのではないか。

資料を集めて勉強するというのも大切だが、状況把握が一番だと私は考えており、川の外から見るのと川の上から見るのではまた気づくことが違うと思うので、船での見学を実施したい。

普通は目的によって、船が適しているのか徒歩が適しているのか決まってくるものなので、初めに何を目的に見学会をするのか、はっきりさせるべきである。

荒川は広く、様々なテーマがあり、それに対する各人の見方も違うと思う。みんなで時間と場所を統一してではなく、次回までに一度、各人で荒川河川敷に行き、気づいたことを次回の会議で発表して、テーマを絞るというのはいかがか。例えば自分の場合だと、木下川のポンプ場には川の断面図が書いてあり、非常に関心を抱いたことがある。会議の場でそういった個人の意見がたくさん出てくると、良い方向に向かうと思う。

個人的にはあまり現地調査というものをあまり難しく考えておらず、一度皆さんで現場を見たいというのが本心である。現場を見て気づくこともあるので、

7月のスケジュールに施設見学会があるが、これを年度当初に持っ

てくるべきではないか。資料館を見学して、知識を頭に入れてから船なり徒歩なりで見学する方が合理的である。

私も島崎委員や野島委員の意見に賛成である。都や国はそれぞれが資料を持っていると思うので、それを知識として得てから、じゃあ墨田区では何をできるか、何を発信するか議論した方がよい。会長は全員で荒川を見たいと言うが、区民会議はこれだけ大人数なので、まず全員は揃わないだろう。佐原委員が発言したように、各人で見に行くというのも良い意見だと思う。さらに環境フェアのことも念頭に置くと、何か成果の発表も考えないといけない。

船から荒川を見て、河岸の状況は詳しく分かるものではない。サイクリングしている人が気持ちよさそうという感想で終わってしまえば、船からの現地調査も意味がないものになってしまう。

各委員の意見を集約すると、初めに資料集めをするべきであるというのが多いので、5月中に一度バスで知水資料館を見学するという事で決定したい。

バスで行くのに、知水資料館に行って帰ってくるだけではもったいない。足立区の荒川資料館等、バスなら寄り道ができるところがたくさんあるので、そういった場所も併せて見学できるとよい。

このあと、環境フェアに参加するかどうか決を取り、反対意見が出なかったため、区民会議として今年の環境フェアに正式に参加をすることとなった。

所 管 課

都市整備部 環境担当 環境保全課 環境管理担当 内線 5472